



令和5年12月
定例会

美作市 議会だより

第8号

令和6年2月20日
発行

おもな内容

一般質問	2
議案等審議結果	7
委員会報告	8
市議会からのお知らせ	12



宮本武蔵顕彰武蔵武道館

一般質問

◆一般質問については、各質問者が投稿したものであり、文責は質問者にあります。
◆12月定例会の一般質問発言順に掲載いたします。
◆各議員の二次元バーコードをスマートフォンなどで読み取ると、質問の様子（録画映像）を見ることが出来ます。



なかやま ただあき
中山 忠明



◆美作市民の経済の発展について

問 市の経済の発展についてどう考えているか。

答 人口減少の克服と地方創生の実現に向けて各種施策を実施し、市民が健康的で豊かになり、人口が増え、雇用が生まれるものと考えている。具体的には「安全で安心して暮らせる福祉の充実」として、看護・介護等専門職等の確保や結婚・出産に向けた支援、「地域産業の活性化と観光振興の充実」として、新規産業団地の整備と誘致促進、観光振興体制の構築等、総合的に各事業を推奨する。

◆入札全般について

問 市は入札をどのように行っているのか。

答 請負等は、市内業者の育成の観点から市内業者優先とし、主に指名競争入札での発注を行っている。入札においては機会均等、公正性、透明性、経済性、いわゆる価格の有利性の確保が求められており、法令に則った運用に努めている。



しんめい まさのり
新免 仁憲



◆旧江見商業高校の跡地利用について

問 岡山県の譲渡条件は多額の費用が発生する可能性がある。譲渡

条件の緩和を強く求めているか。市は再開発をどう考えているか。

答 県の譲渡方針は、有償譲渡とし、校地全ての一括譲渡で、既存の校舎等建物の解体・改修等は譲渡先が行うこととされている。文教施設以外の用途としての活用も見込まれ、活用方針の検討と併せ、地域活性化のため県に柔軟な対応を求めている。

◆市営バスについて

問 運行路線を決める上での条件は。要望があればルート変更や路線延長は可能か。

答 美作市公共交通会議において、地域の実情や移動ニーズについて協議し、道路運送法に基づいてルートの登録を行う。自治体振からの要望等、需要に応じて変更等を行っている。利用状況を検討し、運行形態等も含め、利便性の向上につながるよう検討する。



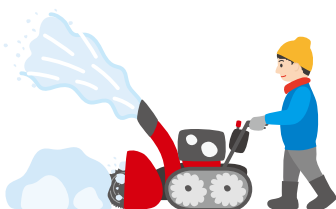
かんばら かずとし
神原 一寿



◆各総合支所への小型除雪機の増台について

問 市内でも積雪が多い、少ない地域があるが、適材適所に小型除雪機を増台配置すべき。大原地域の行政懇談会の要望にもあったが、市内北部は小型除雪機が不足している。手作業の除雪は限界があり、高齢者世帯も多い。対応は如何に。

答 積雪の多い地域からは、これまで小型除雪機の貸出を行っていない地域から貸出用機器増台の要望がある。小型除雪機取扱店に確認したところ、メーカーの生産状況等、今年度の納品・受注が困難な



状況。地域からの要望内容を精査し、来期の配備に向け努力する。また、除雪車が進入不可能な市道の交通確保を目的とした貸出機器増台も併せて検討。異常降雪の対策として、気象情報等を注視し、出勤態勢を整え、有事の対応に備える。

○他の質問：「国指定重要文化財『林家住宅』について」、「市内、インフルエンザの状況について」



◆美作市政等の情報発信について

問 市の情報発信媒体と今後の取組について。

答 広報みまさか、ホームページ、みまちゃんネルが主たるもの。今後、これらを連携させて相乗効果が得られる取組を行う。

内容充実化のためホームページの一部を大幅に改修する予定。双方向の情報伝達が可能なLINEを来年度に構築予定。

◆外国人材の活用と定住に向けた施策について

問 市内在住外国人の現状と受入施策は。外国籍児童生徒への対応は。

答 10月末で565人。技能実習生が40%超。受入施策として日本語教室を5教室開設。長期的な外国人材確保のため、日本語教育の重要性は増すものと考えて。三県境地域創生会議では、日本語教育学校を有する智頭町、佐用町と連携、協業について協議している。外国籍の児童生徒は現在7人で、支援員を配置し日本語・生活支援を実施。

○他の質問：「市民の声を市政運営に活かす方法について」



◆美作市農林業の現状と問題について

問 森林所有者に対する経営管理に関する意向調査の目的は。

答 森林経営管理法により、手入れの行き届いていない森林については、市町村が森林所有者から経営管理の委託を受けており、意向を確認する必要があるため。林業経営に適した森林は、地域の林業経営者に再委託し、林業経営に適さない森林は、市町村が公的に管理を行う。

◆へき地医療の課題と対策について

問 作東診療所について午後5時以降も診療できないか。

答 現在、午後の外来時間は、月・火・水・金が2時半から4時半。

以前は6時までの診療延長を行っていたが、受診者が少なく現在の診療時間になった。地域の方々から診療時間延長の要望があり、前向きに検討したいが、常勤医師の外来診療時間には制限があるため、試験的に月2回程度、延長日を設けて様子を見たい。



◆子育て世代への支援について

問 行政懇談会でも要望があったが、子どもが3人以上の世帯(多子世帯)に対し、新たな家計支援ができないか。国の補正予算の子育て世帯を対象とした住宅に関する支援事業について尋ねる。

答 子ども政策会議で議論し、効果的な施策と判断した場合は当初予算に要求する。子ども

を産み育てたいと思って頂ける優しい街を目指し、着実に取り組む。国が主体の子育て

エコホーム支援事業では、長期優良住宅等の新築、リフォームに最大100万円の補助がされる。申請は施工業者及び分譲事業者が行う。住宅ローンフラット35では、子ども1人につき0.25%、最大1%の金利が引き下げられる。窓口は民間の金融機関、問合せ先は国が設置する窓口。市は広報に努める。

○他の質問：「空家対策について」、「介護保険について」、「熊対策及びマダニについて」



なかたに ゆうすけ
中谷 祐輔



◆緊急通報装置設置事業について

問 普及率、導入して良かった例、改善が必要な点はあるか。また、

本事業の目的を達成するための対策は。

答 市町村合併以前の町村からの貸与分を含め129件を設置。近年は年間に1〜2件の設置。設置費用は3,190円で、その部分を市が補助。機器本体等のリース料として月418円の個人負担が生じる。良かった点は、ボタン一つで通報できる点。改善点は、ワイヤレスリモートスイッチが本体との受信距離に制限があるため、屋外では活用しにくい点。高齢者の急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図れることを目的とした事業であるが、この事業だけでは本目的の達成は困難なため、地域ケア会議等で見守りの必要な住民の把握等、対策や必要な支援について検討を進めている。

○他の質問：「野田レーシングについて」、「みまさか商工会と市の連携について」



くらち しげお
倉地 重夫



◆文化財の保存と活用について

問 無形文化財の保存伝承活動はどのように取り組んでいくのか。

答 市からは、保存伝承活動の実施に際し、保存会等に対して補助金を交付しているが、財源の確保同様に後継者不足により実施できないという声がある。今後の存続が危ぶまれることから、栗井春日歌舞伎のように親子3世代にわたるよう、地域で人を育てる必要を感じている。文化財保存活用地域計画に沿って、子どもを対象とした伝統芸能教室等の開催により、若いうちから伝統芸能への親しみと愛着が持てるような取組を進める。また、小学校6年生を対象とした伝統芸能鑑賞事業を毎年開催しており、地域の伝統文化を学ぶ機会を適切に設定

し、地域を誇りに思う人づくりに取り組んでまいりたい。

○他の質問：「美作市鳥獣被害防止計画について」、「自転車用ヘルメット購入の補助について」、「顕彰式典で黙とうの時演奏される『海ゆかば』について」



やまもと まさき
山本 真樹



◆ライドシェア導入について

問 一般ドライバーが自家用車を使い、有料で顧客を送迎するこの制度は、交通機関の乏しい美作市にとって有効な制度ではないか。交通空白地帯をカバーする施策として、また新たな経済社会をつくる観点においても期待できる。例えば、湯郷等で夜間に飲食した際の不便の解消や観光へのアプローチにも十分に機能できるものと考ええる。こうした認識が今後の美作市には必

要ではないかと思うが、このラ
イドシェア導入について市とし
ての見解を尋ねる。

○公共交通機関の利便性向上を
図っていくための見直しを行
う上で、非常に有効な仕組みに
なる可能性があると感じている。
美作市がどのような方法で導
入すべきか先進事例を参考に
調査・研究を進めていきたい。

○他の質問：「粗大ごみ回収につ
いて」、「市内民間未利用施設に
ついて」、「給食センター委託業
務について」



あんどう いさお
安藤 功



◆ヘルプマーク・カード、ほつ
とパーキングおかやまについて

○取組状況と周知方法について。

○配慮が必要なことを知らせる
ヘルプマーク・カードの総配布

数は、それぞれ304個、302
枚。ほつとパーキングおかやま
駐車場利用証は、車椅子マーク
の駐車場を真に必要とする方が
優先して利用できるよう作成さ
れたもので、総配布数490枚。
障がい者ガイドブック、広報み
まさか、ホームページ等で周知。
ヘルプマークの貸与は、施設等
から要望があれば検討。

◆岡山湯郷ベルについて

○今後の支援について。部活動の
地域移行や市スポーツ施設の指
定管理等、受皿として起用する
考えはあるか。

○引き続きチームへ運営補助金
の交付を行い、観戦者を増やす
取組等をチームと連携して行
いたい。

○市長答弁：地域移行や施設管理
等、助成に加え事業推進におい
ても構想を練りつつある段階。

○他の質問：「市内の公共交通等
について」



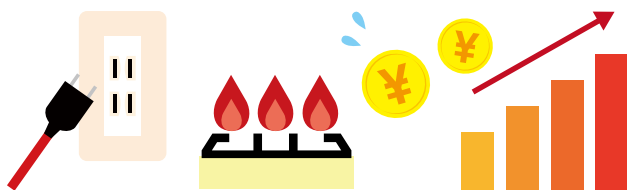
わだ ひろのぶ
和田 広宣



◆美作市の物価高騰対策について

○食料品・光熱費等の継続的な価
格高騰が続く中、深刻な影響が
及ぶ低所得者層・子育て世代へ
の対策として、非課税世帯への
7万円の早期支給、また、給食
費の支援によって更に子育て世
代を応援できないか。

○国の令和5年
補正予算、重
点支援地方交
付金の低所得
者世帯への支
援として非課
税世帯への
7万円支給は、
国からの詳細
な通知が届き
次第、早期支
給に向けて取
り組んでいく。



給食費の一定期間の無償化に
ついては、現在、物価高騰分の
20円増額分について、電力・ガ
ス・食料品等価格高騰重点支援
地方交付金を利用して美作市
が負担している。無償化につい
ては、恒久的な財源の確保・受
益者負担の原則に基づき、無償
化に踏み切れないのが現状で
ある。

○他の質問：「美作市老朽化施設
について」



にしむら たいじ
西村 大司



◆美作市のがん検診について

○広報みまさか掲載のがん検診受
診率では、肺がん14.2%、胃
がん4.5%、大腸がん13%、
乳がん10.7%、子宮頸がん
12.5%等あるが、算出方法
は。現状の分析と今後について
尋ねる。

○**答** 受診率は、受診者数を対象者数

(肺がん、胃がん、大腸がんは40歳以上、乳がんは40歳以上の女性、子宮頸がんは20歳以上の女性)で割った数字。令和4年度の受診率は徐々にコロナ禍前に戻りつつあるが、依然として低い状況。原因は、がん検診の大切さの理解が低いためと考えられる。今後の対策として、愛育・栄養委員による受診勧奨に加え、今年度末から実施予定の「美作てくてく健康アプリ事業」において受診者にはポイントを付与する等、受診の動機づけとなる仕組みを検討中。



○他の質問：「市内の高齢者等の移動手段について」



あおやま
青山 慶
けい



◆教員不足の対策について

問 全国的な教員不足の状況において市の現状と対策は。民間との連携により不足を補う考え方や、オンラインにより複数校の授業を担う等、これらの対策についてどう考えるか。

答 長時間労働を是正し、教職員が心身の健康を維持し、やりがいを持って働くことができる職場環境を目指す。今年度、小規模校連携モデル研究事業として、市内3校の中学校をオンラインでつなぎ、教職員同士の情報共有を図り、業務の効率化等に取り組んでいる。また、オンラインによる3校合同授業の取組も始めた。成果と課題を検証し、国の動向や全国の事例も踏まえ、研究していきたい。人材確保に係る民間との連携に

については、県教育委員会を通して文部科学省にも働きかけていきたい事案である。

○他の質問：「部活動の地域移行について」



かなだにのりこ
金谷 のり子



◆美作クリーンセンター事業について

問 CO2削減、事業費削減の目的で可燃物削減の目標を40%に定めて、生ごみの資源化に取り組み、堆肥化や飼料にする。粗大ゴミのリユースを今以上行なってほしい。事業の1年間の運営費市民1人あたりは令和4年度24,588円、勝央町は13,843円のようにであり、令和6年度から約5,000円増加するようだが、単独で事業を行うメリットを生かし、独自の方法を行ってほしい。包括契

約による業務変動での職員雇用はどのように考えているのか。

答 引き続き安定した運営に努め、ごみの減量化等について先進事例など調査研究を行い、5年後の長期包括運営業務委託の方針に向けて検討したい。職員は市の業務に合わせ募集し、受託事業者も適切な人員を確保する準備を進めている。

○他の質問：「美作市河川等の水質について」



にしやま まさし
西山 正志



◆第2期「美作市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

問 道路・鉄道網の整備維持(美作岡山道路の北部延伸及び南部延伸等)について

答 美作岡山道路は中国縦貫自動車道、山陽自動車道、中国横断

自動車道岡山米子線と環状の高規格道路網を形成し、岡山県の産業、観光等の新たな需要を創出するとともに、美作圏域と岡山圏域の交流を促進し、県東部地域の発展等に寄与する道路であると認識している。まずは、中国縦貫自動車道と山陽自動車道を繋ぐことが重要であり、その後の北部延伸を実現すべく、期成会の要望活動等において取り組んでいる。

南部延伸（山陽自動車道との接続及び国道2号までの接続）については、事業区域の岡山市に伝えていきたい。

市長答弁：南部延伸は、瀬戸内市にも主体的に運動していただく必要があり、関係者と連絡を取っている。



審議結果 12月定例会 賛否が分かれた議案等の採決結果

議員名	審議結果	中谷祐輔	神原一寿	山本真樹	森元末信	田村秀昭	新免仁憲	角南良雄	西村大司	和田いさお	青山慶	和田広宣	西山正志	中山忠明	倉地重夫	金谷のり子	鈴木悦子	安藤功	山本雅彦
議案名																			
発議第5号 鈴木悦子議員に対する議員辞職勧告決議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	除	○	議
議案第83号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第4号)※	可決	欠	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)※	否決	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	議
請願第3号 「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	議
議案第84号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)※	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
追加日程第1 議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)の再議の件	否決	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×	○	○	議
追加日程第2 議案第85号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議
追加日程第3 議案第85号「令和5年度美作市一般会計補正予算(第6号)」に対する附帯決議 *	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	議

※12月6日：議案第83号を議案第75号より先議したことに伴い、議案第75号と議案第83号の補正予算の号数の整理を美作市議会会議規則第43条の規定により、議長に委任されたため、議案第83号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)を令和5年度美作市一般会計補正予算(第4号)に議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第4号)を令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)に整理しました。

12月21日：議案第75号が否決されたことに伴い、議案第75号と議案第84号の補正予算の号数の整理を美作市議会会議規則第43条の規定により、議長に委任されたため、議案第84号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第6号)を令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)に整理しました。

*こぶしの里解体撤去に関し、第三者への譲渡等の利活用を早急に検討し、利活用が見込まれず解体撤去となる場合は、合併特例債の期限内に事業実施すること。また、利活用・解体撤去のいずれにしても対応状況を総務委員会にその都度報告することを求めたもの。

- 賛成：○ 賛成でない：× 除斥：除 退席：退 欠席：欠 議長：議（議長は表決に加わりません。）
- 賛否状況は、議員の申告等に基づいて作成しています。
- 他の議案は全会一致で可決しました。

決算特別委員会報告 令和4年度決算を認定

委員長・・・神原一寿 副委員長・・・西村大司 委員・・・全議員

決算特別委員会は分科会で審査を行いました。（美作市庁舎・文化施設・防災公園建設特別委員会分科会(10月6日開催)、議会だより発行特別委員会分科会(10月6日開催)、総務委員会分科会(10月10日開催)、文教厚生委員会分科会(10月11日開催)、産業建設委員会分科会(10月13日開催)）

11月2日に決算特別委員会を開催し、各分科会の審査内容を報告。一般会計、特別会計8件、公営企業会計3件について、全員一致で、すべての決算について認定しました。

総務常任委員会の報告

委員長 新免仁憲 副委員長 山本真樹
委員 中谷祐輔、角南良雄、和田広宣、山本雅彦

12月11日に委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

【議案7件】

議案第66号 美作市災害派遣手当に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

新型インフルエンザ等対策特別措置法の災害派遣手当に関する条文の改正により、一部改正するもの。

議案第68号 美作市税条例の一部を改正する条例について【可決】

納税義務者の利便性と収納率の向上を図るため、固定資産税の納期を課税年内に終えるよう改正を行うもの。

議案第69号 美作市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について【可決】

関係法令により、令和6年から実施される出産被保険者に係る国民健康保険所得割額及び均等割額の減額措置について定めるため、所要の改正を行うもの。

議案第70号 督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例について【可決】

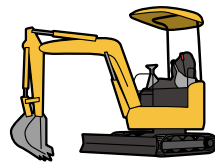
QRコード付納付書の使用範囲の拡大等に伴い、督促手数料のみの未納額増加が危惧されるため、督促手数料を廃止するもの。

議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)総務委員会所管分【修正可決】

こぶしの里及び周辺施設解体設計監理費1,350千円、庁舎前車庫解体工事費3,000千円、消防施設整備補助金2,000千円。

(修正の内容)

こぶしの里及び周辺施設解体事業費について、現在のこぶしの里の建物を活用すべきか、解体すべきか検討の余地があり、一旦減額し、委員会で継続して調査、議論していきたいとの意見があり、減額する修正動議が提出され、これを可決し、その他補正予算については原案であり可決した。



議案第76号 令和5年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)総務委員会所管分【可決】

直営診療施設勘定では、人件費668千円、電気代高騰分873千円の増額。

議案第79号 令和5年度美作市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)【可決】

人件費1,773千円の減額、広域連合派遣職員負担金60千円の増額。

主だった議案質疑内容

問 こぶしの里の屋根を6年前に2,300万円かけて修繕しているが、その経緯は。

答 屋根の銅板が盗難に遭い、雨漏りや漏水により老朽化が加速度的に進むことを止めるため、施設の保全目的で行った。

問 保全目的の屋根修繕を行ったうえで、解体に至った経緯は。解体費用及び更地になった場合の資産価値はどの程度の見込みか。

答 東栗倉地域自治振興協議会において、老朽化の進展、防犯、治安上の懸念等から解体を望む意見があった。また、不法投棄等の周辺に与える影響を考慮する必要がある、解体に有利な財源である合併特例債の期限等を踏まえ、総合的に判断し、解体することとした。解体の本体工事費は実施設計をしないとわからない。資産価値の数値についても持ち合わせていない。

文教厚生常任委員会の報告

委員長 田村秀昭 副委員長 西村大司
委員 倉地重夫、金谷のり子、鈴木悦子、安藤功

12月12日に委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

【議案8件、請願1件】

議案第65号 美作市附属機関設置条例の一部を改正する条例について

【可決】

令和5年1月末で市営露天風呂を閉館したことに伴い美作市湯郷新温泉運営委員会を削除するもの。中学校における部活動の段階的な地域連携・地域移行を検討する協議会の設置によるもの。

議案第67号 美作市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について【可決】

作東老人福祉センターの浴室利用料金について、電気代等の高騰に伴い所要の改正を行うもの。

議案第73号 美作市立英田診療所及び美作市立梶並診療所の指定管理者の指定について【可決】

令和6年4月1日から5年間、社会医療法人清風會を指定管理者として指定するもの。

議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)文教厚生委員会所管分【可決】

障害児施設給付費36,540千円、障害者介護給付費・訓練等給付費12,000千円、若年者医療費22,602千円。

議案第76号 令和5年度美作市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)文教厚生委員会所管分【可決】

保険給付費が77,000千円、高額療養費が20,000千円

の増額。老人保健施設事業特別会計への繰出金8,369千円。

議案第77号 令和5年度美作市介護保険特別会計補正予算(第2号)【可決】

令和6年度からの介護報酬改定に対応するためのシステム改修費用の追加660千円。

議案第78号 令和5年度美作市老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)【可決】

老健入所者の減少に伴う介護保険報酬9,274千円の減額等、電気代や医療資材、給食材料費の高騰により3,453千円の増額。

議案第81号 令和5年度美作市病院事業会計補正予算(第1号)【可決】

電気代の高騰による光熱水費等、10,707千円の増額。

主だった議案質疑内容

請願者の気持ちを汲んで前向きに進めていただきたいとの賛成討論があり、採択となった。

問 部活動地域移行について。

答 地域の各種団体、指導者との協議において方向性が示されたことから、今後は協議会の中で地域移行が可能な体制を検討していく。令和7年度はモデルケースとなる活動を行い、成果や課題を検証したうえで、令和8年度には土日の部活動を地域に委ねる方針。また、協議会の委員に湯郷ベルに入っていたきたいと考えている。



問 診療所の指定管理について。

答 現在の指定管理者が選定されており、利用者数等の観点から、梶並診療所はこれまでどおり週2回、英田診療所は週2回から週1回の診療日に変更する。

産業建設常任委員会の報告

委員長 西山正志 副委員長 森元末信
委員 神原一寿、和田いさお、青山慶、中山忠明

12月13日に委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

【議案6件、請願1件、陳情1件】

議案第71号 市道路線の認定について【可決】

檜原上地内1路線、井口地内1路線、下山地内1路線の合計3路線を市道に認定するもの。

議案第72号 市道路線の変更について【可決】

豊国原地内の1路線において、既存市道の終点を変更して認定するもの。

議案第74号 津谷キャンプ場の指定管理者の指定について【可決】

令和6年4月1日から3年間、合同会社オフィスキャンプを指定管理者として指定するもの。

議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)産業建設委員会所管分【可決】

農地中間管理機構集積協力金2,642千円、下水道事業会計補助金及び出資金40,461千円、農地災害復旧費8,000千円、財産売払収入15,196千円。

議案第80号 令和5年度美作市水道事業会計補正予算(第2号)【可決】

配水施設の修理箇所増加に伴い建設改良費及びこの財源の出資金をそれぞれ4,000千円の増額。

議案第82号 令和5年度美作市下水道事業会計補正予算(第1号)【可決】

人事異動と人事院勧告に伴う人件費、企業債の利率見直しによる企業債支払利息2,789千円。

請願第3号「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める請願【不採択】

経済支援は別の取り組みでも可能。最低賃金の全国一律化は現実的ではないとの反対討論があり、不採択となった。

陳情第2号 森林環境譲与税の用途についての陳情書【継続審査】

継続審査を求める意見があり、全員賛成で継続審査となった。

主だった議案質疑内容

問 市道路線の認定について、今後の利用は。

答 市道奥宮途線と今回の認定支線とを併せ道路改良を計画している。

問 津谷キャンプ場の指定管理について選定委員会でのような質問、意見があったのか。

答 選定委員からは地元雇用、夜間の連絡体制、周辺施設との連携について質問があり、申請者(合同会社オフィスキャンプ)から、キャンプ場とトム・ソーヤー冒

険村合わせ10人(勝田地域は木地山1名、東谷2名、梶並3名)を雇用しており、夜間は、音声ガイダンスから転送電話で対応している。周辺施設との連携は、右手養魚センターとの釣り体験を組込む宿泊プランが好評で、今後は木地師の里とのイベント等の連携を検討していきたい、との回答があった。

指定管理者のリスク要因となる売上の減少時どう対応するかについて有識者からは、他に運営している施設等も含めた財務内容を見ても問題はない、との意見があった。



問 財産売払収入について、大原農業振興センターの土地、建物も売却したのか。また今後の建物の修繕費はどうなるのか。

答 土地、建物は美作市所有のままで、同センターに貸与している。修繕等が発生した場合は、同センターが行うことで話をしている。

美作市庁舎・文化施設・防災公園建設特別委員会の報告

委員長 和田広宣
副委員長 森元末信
委員 全議員

12月14日に委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。
【議案1件】

議案第75号 令和5年度美作市一般会計補正予算(第5号)美作市庁舎・文化施設・防災公園建設特別委員会所管分【可決】

繰越明許費として新庁舎等整備事業188,000千円。令和5年度から令和6年度までの債務負担行為補正として防災公園整備事業10,000千円、新庁舎サーバー室用無停電電源装置購入事業17,000千円を追加。

主だった議案質疑内容

問 新庁舎に設置する無停電電源

装置の稼働時間はどのくらいもつのか。

答 稼働時間については、負荷がどれくらいかかるかによる。電池容量に対して負荷が120%あったとしても、10分間は電源が保持できる。この10分間は、発電機が発動し、電気の供給を開始するための目安とされる時間である。

問 停電になってから、10分間しかもたないということか。

答 電源の保障は非常発電機とセットとなる。発電機が稼働するまでの間を保障するものであり、発電機の発動時間は約40秒から1分とされているため、10分間あれば十分対応できる。

新庁舎の建設状況について

令和6年4月頃には棟上げの状態となり、その後内外装に着手し、令和6年10月の完成予定となっております。新庁舎周辺では、令和6年度から周囲の市道改良工事を行い、防災公園については、令和7年度までの事業であるため、庁舎移転後も工事が継続されます。文化施設については、令和6年度に向けて基本コンセプトを一本化させ、現在の美作文化センターの在り方も検討していきます。また、新庁舎・防災公園区域において新たな字名を設定することを検討しており、新名称の選定方法等、協議を重ねることとしています。

新庁舎・防災公園 配置図案(10月6日現在)▶



▲工事状況写真(11月中旬)



▲工事状況写真(1月下旬)

3月定例会日程(予定)

2/21 (水) 本会議 (開会)	3/ 1 (金) 本会議 (議案質疑)
2/26 (月) 本会議 (代表質問・一般質問)	3/ 8 (金) 常任委員会
2/27 (火) 本会議 (一般質問)	3/11 (月) 常任委員会
2/28 (水) 本会議 (一般質問)	3/12 (火) 常任委員会
2/29 (木) 本会議 (一般質問・議案質疑)	3/21 (木) 本会議 (閉会)

正式には議会運営委員会で決定し、みまちゃんネルデータ放送と美作市ホームページに掲載いたします。本会議は、みまちゃんネルで生放送いたします。また、本会議当日の夜も再放送いたします。

請願・陳情について

市政に対して要望があるときは、請願・陳情を市議会に提出することができます。請願書の提出には議員の紹介が必要となりますが、陳情には議員の紹介は必要ありません。議会で受け付けた請願・陳情は、関係する委員会で審査し、本会議で採択されたものは、執行機関に送付いたします。本会議開催前には締切日が定められますので、詳しくはお問い合わせください。なお、請願・陳情に記載された個人情報につきましては、本会議での請願・陳情の付託の議事や委員会での審査に用いるほか、請願・陳情の内容等の問い合わせに使用することがあります。また、提出者の個人情報に記載された文書は、本会議や委員会で議員のほか市長その他執行機関の関係職員に配布されます。

議会事務局 ☎0868-72-0922

市議会からのお知らせ

本会議(定例会・臨時会)は、どなたでも見たり、聞いたりすることができます。本会議の傍聴を希望される方は、市役所4階の議場受付で住所・氏名等を記入の上、入場してください。傍聴者には傍聴券を交付します。

市議会の本議会がみまちゃんネルとインターネット(YouTube)でご覧いただけます。
※インターネットで閲覧できるのは代表質問、一般質問に限ります。
インターネットで閲覧される場合は、YouTubeで次の内容を検索してください。

岡山県美作市議会公式チャンネル 検索



岡山県美作市議会
公式チャンネル

編集後記

昨年は、議長選をめぐる贈賄事件が発生し、不名誉なことでも美作市が全国に報道されることになりました。全議員、初心に帰る市民の期待を裏切ることの無いよう精進してゆく決意を新たにしているところであります。

12月25日、作東公民館の落成式が行われ、立派な公民館が完成しました。一方、新庁舎も昨年不落随契という形で税込み38億8,300万円の契約が可決され、令和6年度中の完成を目標に現在基礎工事が進行中です。また、物価高騰による負担増を踏まえて、住民税非課税世帯へ7万円を給付するとともに、美作市では、一人当たり3千円の商品券が発行されます。寒い日が続きますが、健康に気を付けてお過ごし下さい。

(倉地重夫)

議会だより発行特別委員会
委員長 中山 忠明
副委員長 中谷 祐輔
委員 神原 一寿
山本 真樹
西村 大司
倉地 重夫